



市政記者各位

令和5年12月6日
福岡市道路下水道局
JICA九州

福岡市の下水道事業を学びに フィジー国から10名の政府関係者が来福！

福岡市は、これまで、フィジー国の水環境改善に向け、国土交通省や環境省事業等を活用した技術協力を行っており、現在は、JICAの事業である「フィジー国西部地区汚水処理マスタープラン策定プロジェクト」にアドバイザーとして参画しております。

この度、福岡市は、上記プロジェクトの一環として、フィジー国政府関係者を、現場視察等に受入れることになりましたので、お知らせいたします。

◆ 研修概要

- (1)受入期間:令和5年12月8日(金)～12月22日(金)
- (2)フィジー国政府関係者の所属:公共事業気象運輸省、財務省、地方自治省、環境局、フィジー水道公社(計10名)
- (3)研修内容:講義、現地視察等

◆ 取材可能日

令和5年12月13日(水)・15日(金)

日程	時間	内容(施設イメージは次ページ)	場所	住所
12/13(水)	10:00～12:00	水処理施設 下水バイオガス発電施設	中部水処理センター	中央区荒津2-2-1
12/15(金)	10:00～12:00	リン除去回収施設	和白水処理センター	東区塩浜3-2500

※ 取材については、事前のご案内が必要なため、取材日の2日前迄にご連絡下さい。



オンライン研修



技術研修



下水処理場の視察



水処理施設 (中部水処理センター)



下水バイオガス発電施設 (中部水処理センター)、リン除去回収施設 (和白水処理センター)



◆JICA「フィジー国西部地区汚水処理マスタープラン策定プロジェクト」の概要

- ・ 事業期間: 令和3年 10 月～令和6年9月
- ・ 事業内容: ①フィジー西部地域の汚水処理マスタープラン策定
②優先都市における汚水処理マスタープランの策定
③優先プロジェクトの実現可能性調査の実施
④フィジーの下水道事業維持管理体制の強化に向けた研修
- ・ 福岡市の役割: アドバイザー (マスタープラン策定に向けた助言やオンライン研修等)

- ・ 面積: 1 万 8,270 平方 km (四国とほぼ同じ大きさ)
- ・ 人口: 924,610 人 (令和 3 年時点)
- ・ 首都: スバ
- ・ 上水道普及率: 約 70%
- ・ 下水道普及率: 約 20%

(Fiji 2017 Population & Housing Census [平成 29 年])